

図書館報

第十号

昭和三十四年一月三十日

発行所 福岡市西新町

西南学院図書館

発行人 山下和夫

春休と読書

館長 船越栄一



先日暮のすす払いで片付けものをして、中学時代の作文とともに高校時代のある年の春休の目録表が出てきた。画洋紙に線を引いて、自分で作ったものである。一時間刻みに行動がしるしてある。睡眠時間は黒で勉強時間は赤である。その他は白で散歩、休けい、食事などと書き込んである。私は先生の助言で中学時代からこんなことをやって来た。私にもこんな時代があつたのだ。

しかし人間は年をとるとともに愚にもつかない雑事に追われて、とか

く勉強の時間を失いがちである。私の研究室の仲間が時たま集ると時間のないことをかこつのであるが、同時に研究室の独身時代をなつかしむ。何物にも煩わされることなく研究に打込めた時代だからである。学生諸君にとっては本当に勉強できるのは学生時代をおいてはない。日本の社会では実務につきながら学問をするということは不可能なことである。

もつとも勉強ということは必ずしも自分の研究に直接する専門書を読むということではない。私のとぼしい経験でも自分の研究において示唆を受けるのは、自分の研究には直接関係はないがしかし関連のある学問からであることが多い。周辺の学問の重要性がここにある。日本の学問の弱い弱性は学者がその周辺の学問にうといことから来ている。私

もその一人なのだが。

休中こそこういつたものを読むのに最適の時期である。ある学者が「休中に読もうと思つて専門外の本を買う。これは実にたのしい。しかし、こうした書物をかばんに入れて休中避暑地に出掛け、心おもむくままに本を開くのはさらにたのしい」と書いていたのを思出す。もつとも、この人も雑事のためにしばしば東京に呼戻されるらしく、一番嬉しい時は旅行の計画を立てている時だと書いていたのは皮肉である。

世俗的な煩いに煩わされることのない学生諸君には休暇を是非こうした読書にあてていただきたいものである。

休暇中こそ専門書もさることながらむしろ人生の書教養の書を読むべきである。

その人が若い時代どんな本を読んだかということがその人の将来を決定するものだからである。

(写真は船越栄一教授)

X X X X

新刊書点描

(法律関係)

「法學講要」上下 末川博編 (日本評論新社)

いずれの学においてもその根幹をなしている基礎的な知識を会得しなれば如何に小知識を集めても全体の把握はできない。本書では法学の各部門毎に基礎的な考え方と問題点とを掲げて法学を学ぶコツと急所のとらえ方を平易に示している。更に六法全書の使い方や判例の読み方についても解説を施しており、ガイドブックとしてゆきとよいた配慮がなされている。

「赤いペレ」 中川善之助著 (日本評論新社)

民法学者として知られている著者が折にふれて感じた断想を集めた隨筆集。たん／＼とした筆の下から著者の豊かなユーモアと円満な物の観方が

窺われる。

法律に全然関連のない文もあるから、法学者のつれづれ草々である。法学に興味のない人にも結構楽しめるものとしてお奨めできる。

「家族制度」 磯野誠一・著 磯野富士子

淳風美俗を中心として (岩波新書)

民主的な家族関係を明るく保つてゆくとすることはなか／＼困難なことである。それに乗じて最近はやりの家族制度への郷愁が人々の胸に入りこもうとする動きさえ見られるのだが、これを排除して民主的な家族道徳を樹立するためには敗戦まで日本古来の淳風美俗として讃えられてきた家族道徳が何故否定されねばならなかつたかを明確に把握すると共に家族の愛情関係を維持する方法を追求する必要がある。著者はそこで家族関係調整の方法として人間関係に関する科学の理論を提出せんとする。

(山下)

告知板

新規購入雑誌について
次の三冊の雑誌を新しく購入致して居ります。精々御利用下さい。
歴史学研究(昭33,4月号より)
世界週報(昭34,第一週号より)
毎日新聞縮刷版(昭34,1月号より)
購入希望の本について
図書館に購入を希望する本がありましたら、貸出係に受付簿がありますからお申出下さい。
卒業後の図書館利用について
卒業後は特別入館証をご利用下さい。卒業証明書を特別閲覧願ひに添えて申込むことになつて居ります。四年次生の皆さん卒業後どうぞ御来館下さい。
卒論の製本について
卒論の製本、保管は図書館におまかせ下さい。各ゼミでまとめてお持ち下さい。一人分百円。

三年次生のためのアドヴァイス

SELECTED BOOKS

最終学年のために
なにを読むべきか

各教授にきく

岩根 教授

商学

私の本学での担当は商業英語、貿易実務及び仏語となっております。その中ここでは商業英語と貿易実務の必読書を二三申し上げます。両者は貿易経営に於てあたかも車の両輪のようなものであり、而も学問的には実学(理論的な学問の反対の概念として)の中の実学であります。商業英語については次の様なものが推奨されます。

1. 羽田三郎著「英文貿易通信入門」
 2. 北沢佐雄著「現代貿易英語通信」
 3. 篠原新次郎著「商業英語」
 4. 伊知地純正著「貿易英語」
 5. 羽田三郎著「商業英文の急所」
- 以上のいずれを読まれても結構です。
- 中・上級程度

1. 虎尾正助著「貿易通信指針」
 2. 光井武八郎著「英語商業通信文の書き方」
 3. "Business English"-College Outline Series
- 次に貿易実務関係では入門程度

1. 浜谷源蔵著「入門貿易実務」
 2. 上坂西三著「貿易実務」
 3. 松井清著「日本貿易読本」
 4. 東洋経済論「世界経済読本」
- 中・上級程度

1. 木曾栄作著「貿易経営要論」
 2. 安東盛人著「外国為替概論」
 3. 栗林岩根共著「英文貿易実務」
 4. Economists Past and Present by Me Counsel 5. Techniques of International Trade by Rosenhael
- 尚両者に共通の雑誌として
1. Business English
 2. 貿易と関税
 3. 東京銀行月報
- 等をおすすめします。

E

石井 教授

残念ながら英語学英文学以前のことから始めなければならぬとすると普通の英文の構造と学校文法に抜かりのないようにする本を読んで欲しいものです。

次に卒業論文に選んだ作品の熟読です。わかりきつたことながらテキストを丹念に読まなければならぬ。まだ題目の決らない方も決つた方も参考文献の引用文だけでは論文になりませ

英文

次の書物はオリエンテイションとして役に立つと思います。

1. 土方辰三編東大教養英語英文学 2 「イギリスの文学」(創元社)特に小説を選ぶ方には次もよいでしょう

Arnold Kettle: An Introduction to the Eng. Novel 2 vols

経済

済

新三年の諸君は、そうはつきり自覚していませんが、これからいよいよ専門の学部で襟元のバッチが象徴する社会人になるための準備段階に入つたわけである。三年後期には、その総仕上げとしてのゼミナールをはじめ

が、諸君も見聞していらっしゃると思うが、「現代」という時代は、就職に端的にしろされているように、大変な時代である。そこで、少しテーマから離れるようで恐縮だが、

Hutchinson's University Library, 1951)

各作家の入門としては Longmans から出ているブリテイッシュ・カウンシル編の Writers and Their Work から選んだらよいと思います。殆んどの作家が網羅されています。(一冊百円程度)。アメリカ文学と英語学の参考書についてはまた別に考えねばなりません。いずれにしてもテキストをよく読んでおくことが第一です。

経営

山本 助教授

この春秋はおそらく諸君が学生として純粋な読書を享受しうる最後の長期の機会であろう。なぜなら四年次夏休は卒論、就職準備が介入するからだ。この意味で卒業後も再読再考できるような「原典」を一冊熟読し、ぜひ読んでおきたい。ここでは訳

学説史の把握を

松井助教授

デッサンを作つておくべきである。それぞれの学説は時代の鏡であるから、これを勉強することによつて、時代の流れや学説相互の連関が縦横に理解できるし、「現代」資本

者を列挙するが、原書と対照される。いまや会社は経営学の原典を読める。学卒々々を待望しているのだから……。(訳者名略)

- テイラー 科学的管理法
- フレイヨル 産業並に一般管理
- ホルデン等 トップマネジメント
- ゴードン ビジネス・リーダーシップ

○バーナード 経営者の役割

○ニューマン 経営管理

○ヨウダア 事業経営と人事算理

○メイヨウ 産業文明と人間問題

○レスリスバーク 経営と勤労意欲

○パウマン等 プロダクション・マネジメント

○エルマンズキー 産業合理化の理論と実際

○グッテンベルグ 経営経済学原理

一・二

○グラアス 経営史

○ドラッカー 現代の経営一・二

○印は基本原理

主義の諸問題も、またそれに対処する近代経済学とマルクス経済学の問題点もおのずから判つてこよう。どこが判り、どこが判らないか、がはつきり判つてくるとき、つまり「疑わぬ精神」が頭をもたげるとき、諸君は大学生の特権である勉強(大人の安易な勉強でない)を興味をもつてはじめてきたときである。図書館には、そういう食慾旺盛な諸君を万腹させるだけの本が来訪を待っている。ゼミナールの教官も、そうだし社会も実はそうだと信じている。

体験談

大学生生活四年目を

私はこう過した

私はムードを棄てた

商59 坂本卓二

経営学に生き、育てられ、就職まで決められた事は物に徹する事を本望とする私にとつて満足すべきものだ。しかし、私はムードを犠牲にした。ムードは人間にとつて必要な人間にとつてこそムードは必要なのかもしれない。

しかし、生活を全てムードで満すことは、学生生活にとつてむしろ有害無益と云はねばならない。西南にはムードが多すぎる。西南には学問的厳しさを全く欠いている。ムード過多の学生が資本主義の厳しさに、就職試験に挑戦出来るだろうか。安易な妥協を選ぶだろう。学生は一日も早くムードから脱皮すべきであり、本質を研究すべきだ。現象は、研究すべきでなく学ぶべきだ。経営学を専攻する学生なら、中西寅雄―馬場克三のラインの主張する「個別資本理論」の研究に徹すべきであり、経済学を専攻する学生なら

「マルクス理論」の研究に徹すべきである。本質の研究こそ学生の本分であり、経済白書、現象的知識は知つておくべきものだ。

(日本能率協会)

真理を購う

図書館は真理の市場

商59 岩田定昭

英文科出身の私が、本学の商科三年に編入して以来現在までの二年間を顧る時、私は、自分にとつて未知なる学問の世界に対峙して、唯唯ゆむなと叫び続けて来た自分を見出す。それは即ちすぐれて撓ゆむことなく先賢の書に親しめと云うことであつた。先賢の書に親しむと云う事。それは自己の努力を代償として、そこから智識を従つて又真理を購うこと、云えよう。この真理を、資金とも云うべき自己の努力を、ともすれば、些事に浪費せんとする誘惑との闘い、思えば、それが自分の西南大生としてのこの二年間の生活であつた。又以上の様な意味に於て、本学の図書館は真理の市場として、私の学生生活に不可欠なもので

あつた。斯くして、僅かながら私の購つた真理は、私の内に於て、西南学院によつて培われた精神的土壌に深く根を張り、やがて思想と云う大木に成長してゆくことを、今や私は強く信じて居るのである。

(菱電商事)

英語学への関心

英59 田中正志

大学生生活に終始符を打たんとする自分は楽しい思い出と同時に悔いにふける。我々英文科の学生は確かに英米作品を読解した。しかもそれを文学として読む、勿論それも結構であるがそれで満足すべきだろうか。我々は言葉の連関性にも大いに関心を払うべきである。社会機構の中の一員たる我々が社会から逃避した如くして満足すべきであるか。我々が実社会に出ても役に立つ英語を身につけるべきである。英語教師志望の学生が英語の発音のみにしても完全にマスターした人が幾人居るだろうか。現在、英語学は撰択になつてゐるが、これは是非、必修とすべき科目である。英語の話しぬ英文科生、これも恥すべき事である。特に西南は外人教授によつて生きた英語が聞けるのだから、彼等を敬遠せず、もつと積極的でありたい。英語

を解せずして英文学が解せられるであろうか。英語こそ英文学を理解できる土台であると信じる。

(筑邦女子高校)

随想

学生時代のことです。しとしと雨の降る日でした。郷里から送つてきた為替をさつそく現金に替えて

ある思い出

永島大典

そんなことをおまわりさんに言つたところで仕方がありません。おとなしくお詫びを言つて、また足を急がせました。

☆ ☆ ☆

私の書架に並んでいる本の一つ一つに右のような思いがあると言えは誇張にすぎませう。しかし、古書、稀覯書には縁のない私ですが、例えマス・プロの所産であつても、書架の本にはそれぞれの感慨がもつてゐるのです。だから、人に本を貸している時、それがもどつてくるまでは、わが子をよそにあずけてゐるような不安が伴うのです。たとえよその方が一層可愛がられることはわかつてゐても。

☆ ☆ ☆

現代の教育機構は確かにマス・プロの所産であつても学生の一人一人には……。どうも話が教師くさくなりましてこのあたりで止めましょう。

(筆者は本学講師)



ご存知ですか

Closed Books

閉架
「クローズド
ブックス」

close [Klous] a. 1. 閉鎖した2. 隠された3. 限られた非公開の [Klouz]
vt. 閉じる. とぎす. しめる. closed
access 閉架 closed shelves 閉架
closed stack 閉架(米語)

「閉架図書」とは何か

本館のように閉架制度を採用している図書館では、あらゆる図書資料を開架において利用者の便宜をはかることがその原則であるが、スペースに限りがある書架においては、なるべく利用度の高い図書をおかなければならないし、その他種々の事情で開架には不適当な図書がある。

例えば利用頻度の少ない特殊の研究書、史料集や、高価で入手し

例えば専門書ではこんなものか

日本経済史殊に明治経済史の研究は日本資本主義の発生発達史であり日本資本主義発生の起点としての当時の諸事情を研究することにより、その発展の跡をたどつてみることは現在の諸問題を究明する上に有益な資料となること、思われる。ここで

難い貴重書、豪華版の類。又は公開に適しない和製本などもあげられるし、その他、教授の指定によるものもある。

以下は主としてこれらの理由によるため書庫に所蔵されている図書のほんの一部の簡単な紹介ではあるが企みてみたので利用された利用希望者は、書名目録カード

なり、著者名目録カードにより請求番号明記の上、申し出て下さい。

「明治前期財政経済史料集成」

明治初期における財政上、経済上の政策制度に関する調査、報告書で当時の財務当局者がこれらの制度を樹立するためになされた修担たる苦心の跡がうかがえる。全二十一巻。各巻各書には簡単な解説が付してあり又内容が摘要されている。

「明治大正財政史」

史実の客観的記述にもとづく最も正確なる当時の史料が原形のまま多

数採録されている。全二十巻、付表として中央財政機関沿革一覽表などあり。大蔵省編纂。昭和十五年財政経済学会発行。

その他「明治財政史」全十五巻。細川雄三郎著「明治財政要鑑」(全)などがある。

又これら資料に対する歴史的研究の有用性と重要性とから、昭和三十年より現在なお継続して、日本銀行調査局の編纂にて「日本金融史料明治大正編」全二十五巻が発行されている。

徳川時代殊にその中期以降金銀貨幣使用の普及に伴い、貨幣資本の成立を見、資本の蓄積は容易にかつ迅速に行われることになった。しかも最も多く資本を蓄積したものは商業に従事せる町人にほかならなかつた。貨幣使用の普及はとりもなおさず商業の発達を意味するのであつて、漸次商品は全国的に配給せられ、経営の規模も拡大せられた。

それと共に会計帳簿組織、当時の帳合之法がどのようなものであつたかを知ることが興味深い。ここでは主としてその形態をととのえ始めた明治初年におけるこれら資料の一部を列挙すると、福沢諭吉、「帳合之法」(初編二冊)慶応義塾出版

局。呉新一、「簿記学精理乾坤」。森下岩楠、森嶋修太郎合著「簿記學階梯、上下」

大蔵省銀行課編纂「銀行簿記例題、上下」明治十二年出版。などがあり、現在貴重書として図書館に所蔵

されている。以上の資料はすべて和装本である。

また特殊なものとしては...

「経営学のでびき」日本生産性本部原著の表題は「Manual of Industrial Engineering Proceed-ings」でアメリカの経営者たちの多年にわたる経験の結果が集約されたもので、叙述が非常に簡潔であり特に中規模経営の定石というものが手際よく浮彫りされている。そして近代の経営のエンジニアはもはや単なる「物」や「金」の技師たるにとどまらず、人間の「魂」の技師でなければならなくなっていることが各所にみられる。本書は特殊なルーズリーフ式製本である。

次に豪華本の例として

「大和路」入江泰吉写真集

著者の大和路での十余年の写真生活の記録であり、古都にたゞよう自然の美と、仏教美術の底にひそむ歴史の香りと謎とを美しく収録されている写真集である。石田茂作編。昭和三十三年創元社にて発行。大型本である。

その他この種の写真集として所蔵されているものには「正倉院」昭和二十九年、毎日新聞社発行。又、「修学院離宮」、「桂離宮」、「梅原竜三郎伊近作画集」などがある。「万花譜」全十二巻 辻永著。

本書は筆者が昭和七年以後アジア各地で写生されたものの中から約千六百近くを選んで作画、解説されたもので、一般の植物図鑑とくらべ、水彩画のやわらかい感じがあふれている親しみ易い花譜である。(牧野富太郎博士校訂)昭和三十年平凡社にて発行されたもの。

「日本六十余洲伝説物語」

世界の国々は各々その民族の伝説をもつている。日本の歴史の中にもそのはぐくまれてきた伝説は豊富多彩であり、私達の祖先が時代や環境に応じて感得し、あるいは信仰としては、あるいはロマンとして語り伝えられたものである。本書の写真と資料は伝説物語の面白さを展開してくれる。新九州新聞社編発行。

その他、書庫には「世界陶磁全集」、「日本絵物巻集成」、「国語と国文学」(大正十三年、創刊号より)、「群書類従」、「続群書類従」、「故実叢書」(全四十一巻)などがある。

明治文化全集

明治前半期における一大変革をもたらし日本文化の推移の姿を当時の記録によつてまとめられた貴重な全集である。各篇の見返にはそれぞれ篇と関係のある絵が綿密な複製によつて用いられており当時の印象を深からしめている。全二十四巻の中に憲政篇、自由民権篇、宗教篇、文芸学術篇、経済篇、風俗篇、なども含まれている。昭和三年、日本評論社にて発行。(伊藤)